

むさしすいろ
武蔵水路

ないすいはいじよ
令和2年度最初の内水排除を実施

武蔵水路周辺（埼玉県行田市・鴻巣市）では、前線の影響により、4月18日（土）1時頃から同日15時までに総雨量76mm（熊谷地方気象台熊谷観測所）の降雨を記録しました。

この降雨による出水に対し、水資源機構利根導水総合事業所が管理する武蔵水路では、河川及び周辺地域からの洪水を2箇所の水門及び6箇所の放流口から水路内に取込み、荒川に排水する操作（内水排除）を行いました。

今年度に入ってから初めての内水排除となり、内水排除の水量は累計約36万m³で、東京ドーム（124万m³）約0.3杯分に相当します。

今回の内水排除により、忍川の佐間水門地点で約0.85m、元荒川の川面水門地点で約0.21m河川水位の低減効果があったと推定されます。



令和2年4月20日

独立行政法人 水資源機構
利根導水総合事業所

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、水資源記者クラブ
竹芝記者クラブ、熊谷記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 利根導水総合事業所	副所長（事務）	石井
	副所長（管理）	藤
	総務課長	江頭
住所：埼玉県行田市大字須加字船川4369		
電話：048（557）1501		

武蔵水路の防災操作ないすいはいじよ（内水排除）

1. 降雨の状況

武蔵水路周辺では4月18日（土）1時頃から雨が降り始め、昼頃にかけては1時間当たりの雨量が10mmを超える強い雨となり、同日15時までに総雨量76mm（熊谷地方気象台熊谷観測所）を記録しました。

2. 武蔵水路の防災操作（内水排除）

この降雨による出水に対して、武蔵水路では、2箇所の水門及び6箇所の放流口から洪水等を武蔵水路内に取込み荒川に排水する内水排除を実施しました。

水門：佐間水門さま（忍川おしかわ）、川面水門かわづら（元荒川）

放流口：（行田市）長野落放流口ながのおとし、8号放流口、旧忍川放流口きゆうおしかわ、堤根放流口つづみね

（鴻巣市）川面放流口かわづら、赤見台放流口あかみだい

今回の内水排除で排水した量は、4月18日（土）13時過ぎから同日17時過ぎまでで累計約36万 m^3 、東京ドーム（124万 m^3 ）約0.3杯分の量に相当します。

3. 佐間水門及び川面水門における内水排除の効果

今回の内水排除では、忍川の佐間水門地点において、18日（土）14:40時点の水位A. P. 17.59mに対して、佐間水門により洪水を取込まなかった場合の水位はA. P. 18.44mになると考えられ、約0.85mの水位低減効果があったと推定されます。

川面水門では、元荒川の川面水門地点において、18日（土）15:00時点の水位A. P. 16.09mに対して、川面水門により洪水を取込まなかった場合の水位はA. P. 16.30mになると考えられ、約0.21mの水位低減効果があったと推定されます。

※A. P. は荒川工事基準面

4. これまでの内水排除実績

武蔵水路は、平成27年度に改築事業を完了して、本年度は新しい武蔵水路に生まれ変わって5年目です。改築後に実施した内水排除は、平成28年度から通算18回目になります。

平成28年度実績：内水排除6回

平成29年度実績：内水排除3回

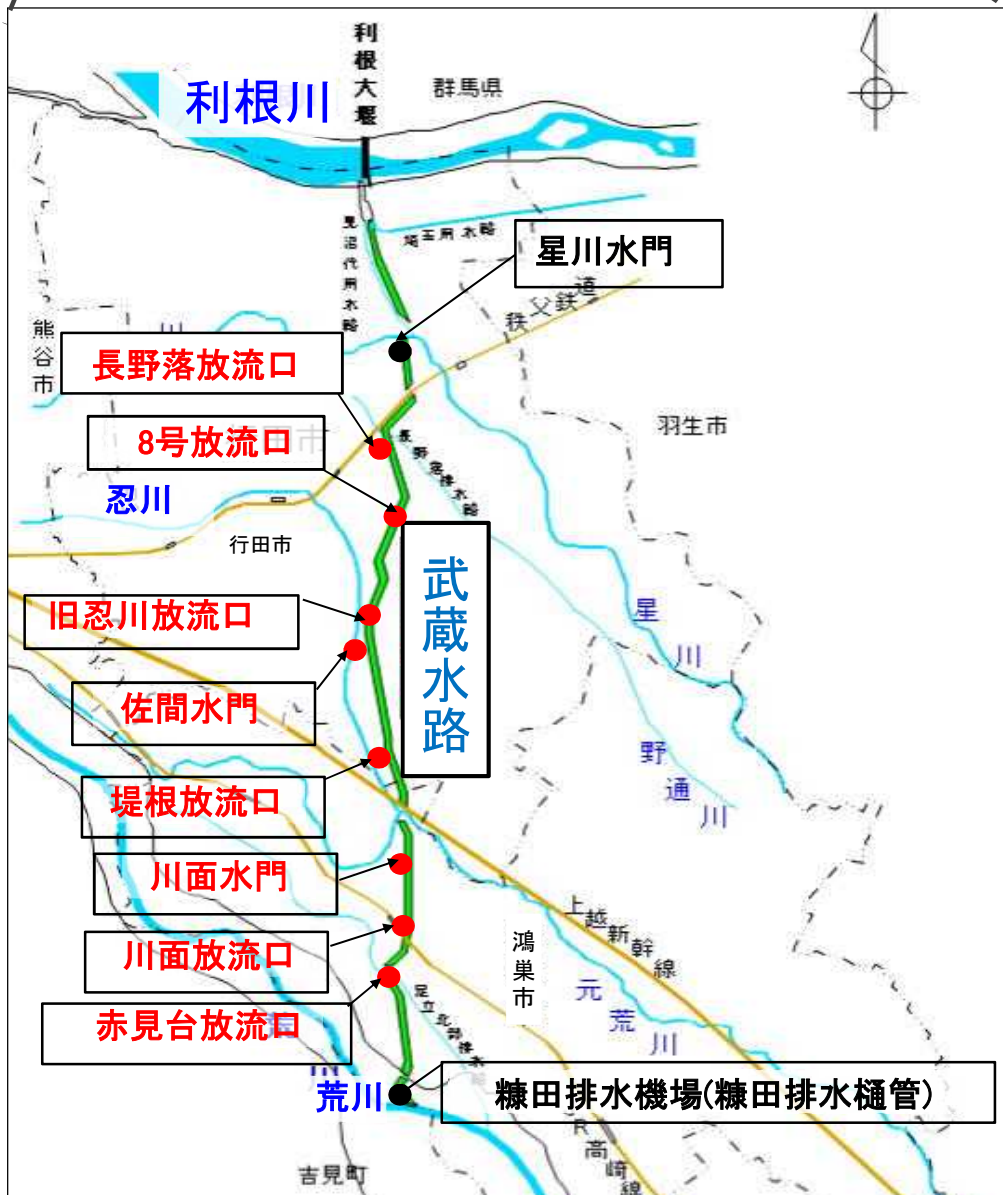
平成30年度実績：内水排除3回

令和元年度実績：内水排除5回

令和2年度実績：内水排除1回

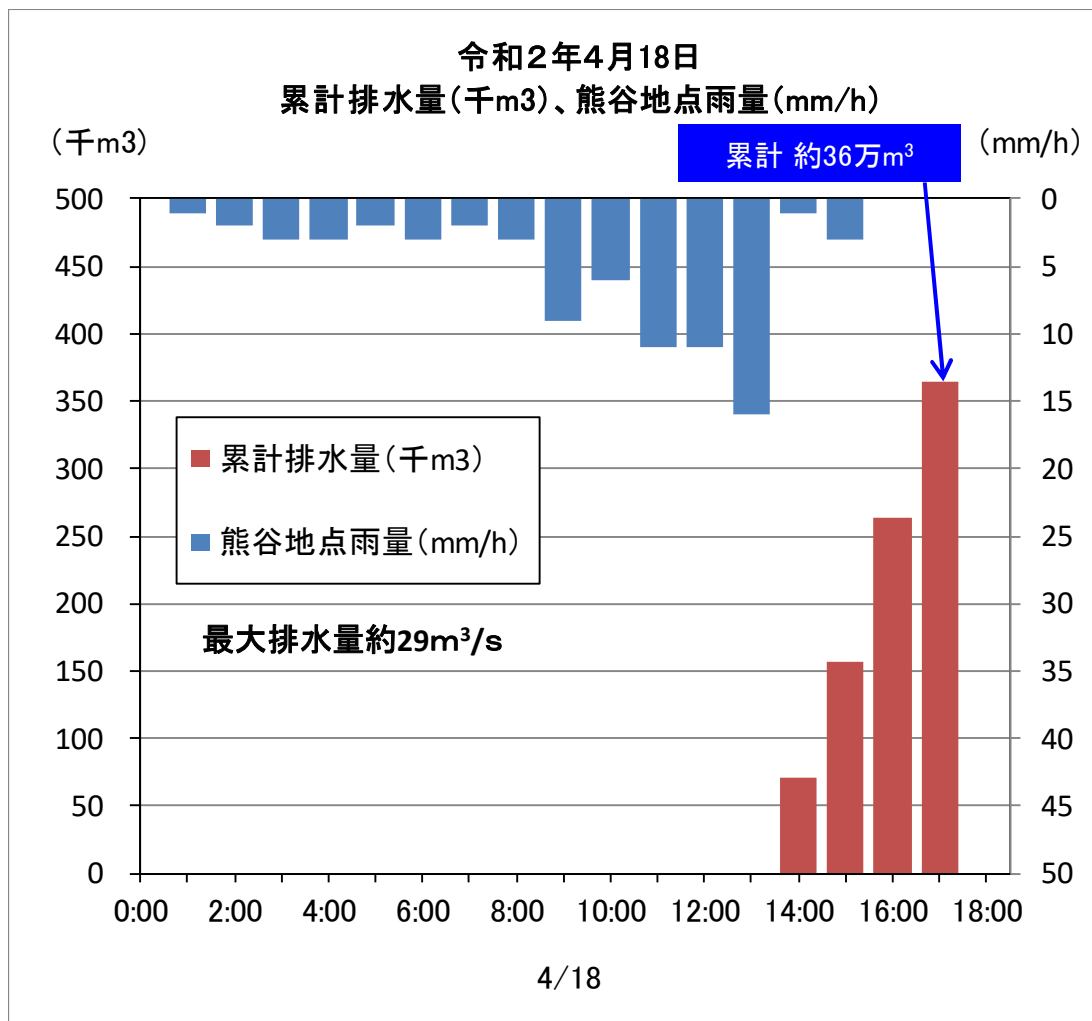
※改築後の最大排水量：約537万 m^3 （平成29年10月22日～24日）

武蔵水路位置図

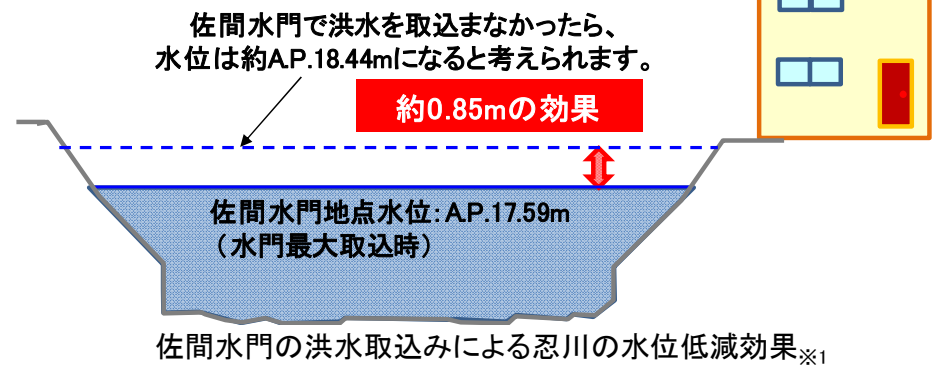


武蔵水路 水門・放流口等位置図
(赤字の施設は内水排除操作を行った施設)

令和2年4月18日 前線による降雨 武蔵水路内水排除速報



佐間水門ピーク水位時 令和2年 4月18日 14:40



- 8箇所の水門・放流口により洪水等を武蔵水路に取込み、累計約36万m³※1を荒川へ排水しました。これは、東京ドーム(124万m³※2)約0.3杯分の量に相当します。
- 佐間水門、川面水門で洪水を取込んだことにより、忍川(佐間水門付近)で約0.85m、元荒川(川面水門付近)で約0.21mの水位低減効果※1があったと推定されます。

※T.P.(東京湾平均海面)0.0m=A.P.(荒川工事基準面)1.13m

※1 取込み量及び効果は水資源機構試算 ※2 東京ドームHP(<https://www.tokyo-dome.co.jp/dome/facilities/index.html>)